



第54号
令和5年1月1日

団長統率方針
任務の完遂
団長要望事項
創意と情熱
心技体の充実

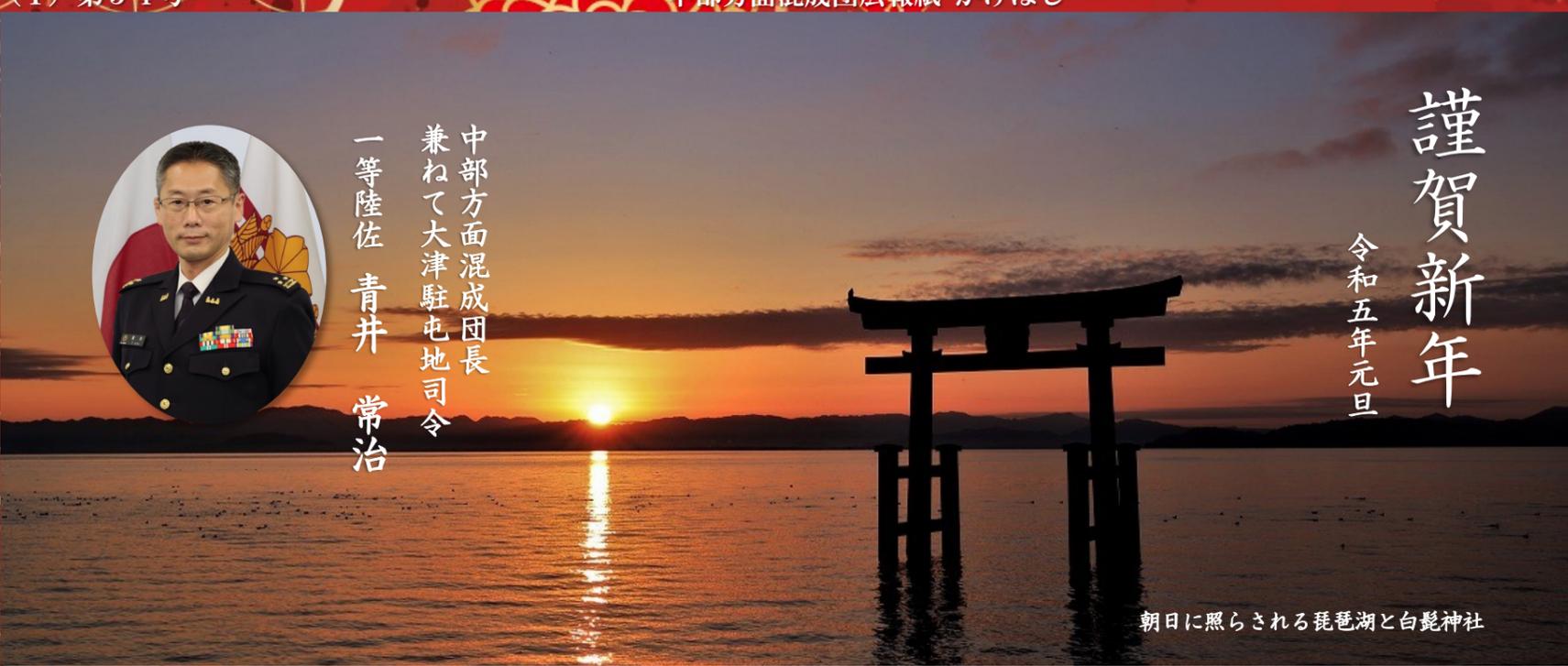
駐屯地司令
要望事項
作戦基盤の確立
環境の改善
地域との連携



web site

謹賀新年

令和五年元旦



朝日に照らされる琵琶湖と白鬚神社



中部方面混成団長
兼ねて大津駐屯地司令
一等陸佐 青井 常治

年頭の辞

大津自衛隊協力会、中部方面混成団友の会を始め、自衛隊協力諸団体や地域の皆様におかれましては、日頃から中部方面混成団及び大津駐屯地に対し、格別なるご支援・ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

また、隊員諸官においては、任務の完遂に向けて、日夜献身的に隊務に精励するとともに、隊員ご家族の皆様には、日頃より隊員の心の支えとなっていたいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のノウハウを確立し、新隊員・准曹士・予備自衛官等の教育及び即応予備自衛官招集訓練を概ね計画通り実施するとともに、混成団が統裁する3年ぶりの第49普通科連隊の訓練検閲、並びに、混成団創立15周年及び大津駐屯地創設63周年記念行事の3年ぶりの開催等、各種任務を遂行して参りました。

また、ロシアによるウクライナへの侵略が継続しておりますが、力による一方的な現状変更は、国際社会の秩序を揺るがす許されぬ行為であり、ロシアのウクライナからの早期撤退を祈念しつつ、ウクライナの情勢について注視し、今後、我が国防衛に資する教訓については、各種教育訓練に著実に反映していく所存です。

令和5年は、昨年末改訂された国家安全保障戦略を含む戦略三文書を踏まえ、中部方面隊の強靱化に資するよう、「創意と情熱」をもって、各種制約事項を克服し、中部方面混成団の任務を完遂するとともに、地域の皆様との連携を更に強化して参る所存です。

自衛隊協力諸団体や地域の皆様には、今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして幸多き一年となるよう心から祈念し、新年のご挨拶といたします。

各会長から新年の御挨拶

大津自衛隊協力会長 山下 英利



皆様明けましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えいただきましたことを、心よりお慶び申し上げますと共に、大津自衛隊協力会が地域と駐屯地を結ぶかけはしとして、活動させていたいただいておりますのは、会員皆様の暖かい御理解と御協力の賜物であります。厚く御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の猛威が続き、私達の生活に大きな影響を及ぼした一年でありました。加えて、2月に起きたウクライナ侵攻の影響は諸物価の上昇による生活面の厳しさと同時に、国を守ることに打ち勝つ年となることと共に、国民が安心して生活をおくれます様に心から願っております。

中部方面混成団友の会長 田中 清司



中部方面混成団の隊員の皆様、そして中部方面混成団友の会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

日本が、また世界中がコロナ禍の中になり一時は先が見えない時がありました。大津駐屯地の隊員の皆様も目に見えないコロナ禍で色々苦勞され、任務が大変であつたとお察しいたします。今ではコロナの力も弱ってきてそう心配することは無い様におもいます。

ロシアがウクライナに戦争を始めました、いつミサイルが飛んで来るかわからない中、いつ終わるかかわらない中、ウクライナの人々は寒い冬の中、大変な生活を強いられておられます。このロシアとウクライナの戦争は色々理由はあるのかもしれませんが、ウクライナが戦争に弱い国、だとロシアの大統領が判断したから始まった戦争だと思えます。ロシアの力、からしたらすぐに勝てるかと判断したが、ロシアは勝てるか？負けるか、答えはわからない、です。大変な時だと思えます、日本もいつミサイルが日本の地に飛んでくるかわからない、それに対して強い力を持つて対応していただきたいです。

憲法も法律も大切だけど、日本がなくなったら？日本がなくならないように、日本が戦争にならないように、日本人一人ひとりが国民が今日を明日を考えて行動しましょう、最後に自衛官の皆様にとって、また友の会の皆様にとって良き一年でありますように、お祈り申し上げます。

第19期一般陸曹候補生 修了式

令和4年度第2次自衛官候補生

気持ち新たに

それぞれの後期教育部隊へ

中部方面混成団長(団長 青井 常治1等陸佐)は、令和4年12月21日(水) 松山駐屯地及び12月22日(木) 大津駐屯地において、第19期一般陸曹候補生58名(男子52名、女子6名)、自衛官候補生72名(男子59名、女子13名)に対する修了式を隊員家族及び部内外来賓を迎え各地で実施しました。

心地よい冬晴れのもと、入隊した頃よりも凛々しい顔つきで御家族が見守る中、式典を挙行いたしました。立会官として参列した混成団長は、「諸官一人一人が所望の練度に達し、また、射撃検定や体力検定においても格段にレベルアップしたことを踏まえ、入隊式で要望したように全員が『心技体の充実』を図り、3カ月間の教育目標を達成したものと認める。自信をもって、次のステップに進んでもらいたい。」

来月以降は、新たな配属部隊における同期や部隊としての団結の強化、また、各職種に必要な専門技術の習得並びに各職種部隊に求められる体力の向上により、『更なる心技体の充実』に努め、また『自衛官としての目標を確立』してもらいたい。」と訓示しました。

修了行進では、前期教育で得た自信と後期教育に向けての希望を胸に、堂々と行進する新入隊員の姿が見られました。



団長訓示 (大津)



修了証書授与 (松山)



修了行進 (大津)



表彰状授与 (松山)

教育を終えて

「憧れの自衛官に。」



豊川駐屯地
第110教育大隊 第332中隊
2等陸士
北本 真輝

自然災害時に真っ先に被災地に駆けつけて、どんな状況でも勇敢に救助活動をする自衛隊の方を見て、憧れを抱き自衛官になろうと思いました。

訓練は、日々辛いことも苦しいこともたくさんありましたが、同期と助け合い乗り越えることができました。

3カ月という短い期間でしたが、一生の思い出となりました。これからも初心を忘れずに日々努力していきます。



大津駐屯地
第109教育大隊 第315中隊
2等陸士
摺木 弥佑

「心機一転！格闘指導官を目指したい。」

入隊前にアパレル店員として働いていましたが、心機一転しようと思いつき、格闘指導官を目指すため、自衛官候補生として入隊しました。

訓練の際に教官、助教からの熱い指導と激励をいただき、日々の練成によって心身両面を同期と共に鍛え高め合うことができました。

今後は、自分に厳しく、各地の同期を思いながら新たな地で切磋琢磨し、不撓不屈の精神で頑張ります。

「子供の頃からの夢」



松山駐屯地
第110教育大隊 第333中隊
2等陸士
篠原 祐樹

子供の頃から国防について興味があり、自衛隊に入隊を希望しました。

私は、大学生になるまで運動をあまりしておらず、訓練に不安がありましたが、同期と切磋琢磨し合い、訓練を共に乗り越えた今は体力に自信ができました。

後期教育では、より専門的な知識と技能を学ぶこととなりますが、基本基礎を疎かにすることなく頑張りたいです。



大津駐屯地
第109教育大隊 第316中隊
2等陸士
東田 隼弥

「国防に興味がありました。」

約1年前から国防に興味を持ち、日本の防衛の一端を担いたく一般陸曹候補生を志願しました。

入隊当初は考えていたより規則が厳しく、指導されることがありました。共同生活で同期からの指摘を受け自分の欠点に気づけたこと、この汗と泥にまみれた約3カ月を私は決して忘れることはありません！

唯一無二の同期と出会えて感謝です！

令和5年中部方面混成団本部 訓練始め



集合写真



駆け足

中部方面混成団(団長 青井 常治1等陸佐)は、令和5年1月10日(火)に大津駐屯地において混成団本部訓練始めを行いました。混成団長年頭の辞から始まり、年男・年女の抱負、集合写真に引き続き団長を筆頭にした駐屯地内の駆け足を実施しました。訓練始めにおいて、新年に対する決意を新たにするとともに、混成団本部の団結を、お互いの声掛けで、より強固にしました。

令和4年度駐屯地年末行事



初杵入り



出張サンタクロース

中部方面混成団(団長 青井 常治1等陸佐)は、令和4年12月23日(金)に大津駐屯地において、大津自衛隊協力会、中部方面混成団友の会及び隊員家族を招待し、新型コロナウイルス感染症対策を万全にしつつ駐屯地年末行事を行いました。行事は、駐屯地司令挨拶から始まり、司令の初杵入り、各部隊の餅つき、駐屯地厚生委員会からの催し物等を行い、参加した隊員や家族等を大いに賑わせました。隊員たちは、1年の労をねぎらうとともに、令和5年に向けての士気高揚と団結強化を図りました。

混成団各部隊長等新年の挨拶

第47普通科連隊長 一等陸佐 松本 哲治



新年あけましておめでとうござい
ます。旧年中に皆様のご支援、ご協力を
賜りましたこと、第47普通科連隊長
代表して、心より御礼申し上げます。

連隊は、新型コロナウイルス感染症対策を講じつ
つ、着実・持続的な隊務運営を実施して参りまし
た。

諸先輩が築きあげた「常即一体の連隊」「全国の
コア連隊の魁たる連隊」の伝統と誇りを受け継ぐと
ともに、急激な環境変化を踏まえ、何時如何なる状
況においても確実に任務を完遂しうるよう、即応性
を堅持し、厳しい訓練に取り組む等、隙のない、
「相互の信頼」に基盤をおいた隊務運営を推進する
所存です。

変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申
し上げます。

第49普通科連隊長 一等陸佐 後藤 義之



新年あけましておめでとうござい
ます。大津自衛隊協力をはじめと
する協力諸団体の皆様、隊員及び隊
員家族の皆様におかれましては、
益々ご健勝のこととお慶び申し上げ
ます。

昨年3月に着任し「実力をつけよ」を要望事項に常
即一体となるべく切磋琢磨しながら、真に戦える組織
を目指して隊務運営しております。

「常に考えて行動せよ」「仕事は楽しく遊びは真剣
に」をモットーに日々精進しています。昨年12月に
連隊は約3年ぶりに令和4年度団訓練検閲を受閲し、
30km徒步行進に引き続き陣地攻撃を実施しました。

秋雨降る冷たい雨の中、極めてアップダウン富む厳
しいコースでしたが、常即一体となり約98パーセン
ト以上の完歩率で完歩しました。これは検閲に向けて
中隊・連隊が段階的に能力向上を図った努力の賜物で
した。

本年も隊員と共に実りのある一年となるよう一層奮
励努力して参りますので、引き続きご支援、ご協力の
ほど、よろしくお祈りいたします。

第4陸曹教育隊長 一等陸佐 木場 元大



大津自衛隊協力を、中部方面混成団友の会
をはじめ協力諸団体の皆様、隊員及び御家族
の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎
えられたこととお慶び申し上げます。

昨年にも新型コロナウイルス感染症が未だ社
会生活に多大な影響をもたらしております。一日も早くこ
の困難が終息することを祈念しております。

さて、昨今の我が国周辺における安全保障環境のリスク
の増大や技術革新の大きな変化から、状況判断できる小部
隊指揮官の育成が喫緊の課題であると認識し、戦術等の教
育の改善を行ってまいりました。今年も引き続き主体的・積極
的に任務を遂行しうる陸曹を育成するため各課程教育の質
的向上を継続・深化させてゆきます。

そして「俺を見よ、俺に続け」という第4陸曹教育隊の
伝統ある指標を体現するべく、隊一丸となって一層精進・
努力する所存です。

本年も、変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い
申し上げますとともに、皆様の御多幸をお祈りし、新年の
ご挨拶とさせていただきます。

第109教育大隊長 二等陸佐 本田 成弘



大津自衛隊協力を、中部方面混成団友の会を
はじめ協力諸団体の皆様、隊員及び隊員御家族
の皆様におかれましては、幸多き新春をお迎え
のこととお慶び申し上げます。

大隊は、春と秋に入隊を迎えた2期の一般陸
曹候補生及び自衛官候補生に対する約3ヶ月間の各教育訓
練、夏から本年1月末までの期間に予備自衛官の招集訓練や
予備自衛官補に対する教育訓練タイプ毎に5日間を設定した
招集教育訓練、年間を通じた課程設定による大型自動車やけ
ん引の免許取得にあわせた操縦手育成を着実に実施して新型
コロナウイルス感染症への対策を講じつつ部隊において人格
を備えた真に活躍し得る隊員の育成に努めてまいりました。

日本を取り巻く安全保障環境は、一層厳しさを増しており
ます。同時に防衛力整備に関する国民の関心も非常に高まっ
ております。このような社会情勢を踏まえつつ、自衛官、特
に戦闘員として基礎と基本を涵養できるように、本年も初度
の教育訓練における質的向上を大隊一丸となり情熱と愛情を
保持しつつ引き続き取り組んでまいります。

本年も変わらぬ御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し
上げますとともに、皆様の御多幸をお祈りし、新年の御挨拶
とさせていただきます。

第110教育大隊長 二等陸佐 土橋 晃輔



皆様におかれましては、輝かしい新年を
迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年大隊は、春の新隊員教育では4年ぶ
りとなる3コ中隊による松山駐屯地での教
育、あわせて平月教育により約400名の
新隊員を教育し、予備自衛官補約100
名、予備自衛官約60名の教育訓練を行いました。なかで
も、それぞれの精神教育においては、昨年2月にはじ
まったロシアによるウクライナ侵攻に見る「自らの国は
自らの手で護る」といった強い愛国心や強靱な精神力
を、隣国の脅威にさらされる我々も「明日は我が身」で
あることを覚悟し、使命感や覚悟を養うための教えとと
らえ、その質的向上を図り、有事、真に役立つ隊員の育
成に邁進してまいりました。

大隊は本年、松山駐屯地に移動し5年目の節目を迎え
ます。先人の築いたこの国を護るため現状の教育に満足
することなく、一層努力精進して参る所存であります。
本年も変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い
申し上げます。

皆様のご多幸をお祈りし新年のご挨拶とさせていただきます。
混成団最先任上級曹長 准陸尉 岡部 隆宏



中部方面混成団准曹及び隊員御家族の皆
様におかれましては健康やかな新年を迎えら
れた事とお慶び申し上げます。

協力諸団体の皆様には、平素から御支援
と御協力を賜り厚く感謝申し上げます。
昨年八月、第七代中部方面混成団最先任上級曹長を拝
命いたしました。

混成団長を補佐するとともに、上級曹長系統の連携を
図り、准曹士の育成に邁進する所存ですのでよろしくお
願いいたします。

昨年は、新型コロナウイルス感染症対策制限の下、3
年振りとなる混成団訓練検閲において、各連隊の常備自
衛官と即応予備自衛官が一体となり任務を完遂し、ま
た、准曹教育及び新隊員教育においても、各教育隊基幹
隊員の創意と情熱を持った指導により、教育任務の完遂
ができたと思えます。本年も、上級曹長系統の連携を図
り、指揮官を補佐し、准曹士育成に邁進していく所存で
ありますので、引き続き皆様の御支援と御協力を賜りま
すようお願い申し上げます。

皆様の御多幸をお祈りし、新年の御挨拶とさせていただきます。



混成団各部隊年男・年女の抱負



混成団本部 一等陸曹 佐藤 洋



団本部ではまだまだ若輩隊員ですが、3回目の年男を迎えました。

2回目の年男の年に陸曹となり、それからの1

2年の間に守るべき家族もできました。また4曹教や団本部での勤務の中で、とても多くの経験ができ、尊敬できる上司、切磋琢磨しあえる同僚、後輩と出会い、より多くの刺激を受けました。それらの経験が間違いなく今の自分を作ってくれています。この1年も出会いを大切にしたいと思えます。卯年の人は「もの静かで行儀がよく、上品で繊細」な性格の人が多く、さすが自分を含め、団本部の卯年の人でそんな性格の人はいません。この1年も引き続き強くなれるよう頑張ります。

第47普通科連隊 二等陸曹 宮下 大雅



海田駐屯地に来て約8カ月が経ちました。現在単身赴任ですが、去年の8月に娘が生まれ、休日自宅に帰るとしばらく会えないうちにハイハイ

したり、歩けるようになってきたりと凄まじい早さで成長する姿に驚かされています。

本年は卯年ということで「飛躍」「向上」する年といわれているそうです。私も娘に負けないよう成長していけるような年になりたいです。

最後になりますが、こうして仕事に専念できるのも、家庭を守っている妻と、私たちの家庭を温かく見守って頂いている両親に深く感謝し、新年男の抱負とさせていただきます。

第49普通科連隊 二等陸曹 寺田 忠俊



私が第49普通科連隊に異任して10年目を迎えました。こうして振り返ると長いようで、あつという間にでした。そして、その間一般部隊でできないような様々な経験をさせていただきました。今回の年男の行事についても4回目にして初めての経験となります。

また、私的な事においても、昨年は足の故障や新型コロナウイルス罹患、交通事故に遭うなど、ライフイベントチェックで最高得点をたたき出す年となりました。そのような1年で小さな変化がありました。足の故障では、走る姿勢等を抜本的に修正し、新型コロナウイルスの罹患では自炊を意識するようになり、交通事故の経験では一層安全運転に配慮するようになりました。

改めて新年を迎え、これからも様々な経験をし、その都度試行錯誤を楽しみ繰り返しながら少しずつでもいい方向へ成長して部隊へ貢献できるよう精進してまいります。

第4陸曹教育隊 陸曹長 藤井 実



明けましておめでとうございます。昨年は様々な御支援や御指導を賜り誠にありがとうございました。

私の年男の抱負は「錬磨無限」です。これは自分自身の座右の銘でもあり、いつも心掛けていて、また入校学生に対しても要望事項として示しています。

昨年も一昨年に引き続き新型コロナウイルスが猛威を振るう中、今までの当たり前であった生活や社会活動がままならない不便を強いられる年となりました。これにより制限や我慢を続ける事も増えましたが、私はこの変化の日々は自己成長させる事のできる試練、即ち精進を遂げる切っ掛けになると捉え、今年も現状に満足する事なく元気な兎の如く前へ前へと進み続けて参ります。

本年も「3150、サイコー」の一年になるよう引続き御指導と御鞭撻を宜しくお願いいたします。

第109教育大隊 三等陸曹 廣江 葵



この度、2回目の年女を迎える事が出来ました。ずっと目標としていた新入隊員教育等の助教として配置され、更に気が引き締まる思いとともに、この109教育大隊で勤務するにあたり、抱負として「努力」を掲げて参りたいと思います。

次世代を担う自衛官の育成に携わる重要な立場であることから新入隊員の模範となるべく、知識及び戦技並びに教育技法の向上に努めて参ります。

最後に、年女の節目に気持ち新たに、精進して参りますので、変わらぬ御指導及び御鞭撻の程、よろしく申し上げます。皆様にとって良い一年になりますよう御祈念申し上げます。

第110教育大隊 三等陸曹 佐藤 禎士



今年で人生3回目の年男ということですが、今まで健康に過ごせてきたことに改めて感謝しています。

年男としての抱負は、「うさぎ年にちなんだ「あいいうえお作文」で表したいと思います。

「う」家に帰ったら、妻に感謝の言葉。

「さ」酒は週に1回。

「ぎ」業務予定をしっかりと立てる。以上の3つを抱負として、気持ちを新たに健康でより充実した1年を過ごしていきたいと思えます。

